方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力	育てたいとの関わり	基本施策	本年度新たな学校の重点		具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点・郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む	①深い学びを実感できる授業への挑戦 ②「なりたい自分」への向かう個の見届け ③地域との協働・地域社会への発信 ④生き生きと働ける学校づくり	対話を通して 自分考えをつくり 動き出す力	「考えをつなぐ」学びづくり 「心をつなぐ」生活づくり 「元氣をつなぐ」絆づくり・郷土教育	①	子どもが主役「深い学び」を実感する授業づくり	教科の見方や考え方を明らかにして授業を行う	B	本郷小とのオンライン合同授業や他校とのオンライン交流を行い、多様な考えにふれる機会を増やす学習を行う	A	【分析】 ・校内研究会では、授業者が教科の見方や考え方を明確にもち授業提案できた。 ・本郷小とのオンライン合同授業を各学級行い、多様な考え方にふれる機会がもてた。また、北小とも行い、そのよさを一層実感した。 【改善点】 ・児童に考えさせる場を設け、対話を仕組むことはできたが、会話にとどまり深い学びにならないことがあった。また、教師の捉えにも差が見られた。
				②	「なりたい自分」の実現に向かう取り組み	教師や家族との対話から「なりたい自分」を決め、適宜振り返りと目標の見直しを行う	B			
				②	思いや願いからつくる学級・学校の楽しい活動・計画的な実施	委員会や縦割り班活動、学級活動において、児童が主体となり楽しい活動を考え、動き出すよう指導する	A			
				②	一人ひとりの居場所がある安心・安全な学校、他者に信頼される職員	教育相談やスマイルサポーター制度、アンケート等を活用し、児童一人ひとりと対話する中で個に向き合い事実をつかむ	A	【分析】 ・特に児童会や集会で、児童が主体となる活動を自分たちで考え、実施することがよくできた。 ・全ての教育相談活動を通して事実をつかみ、問題行動の未然防止に努めることができた。特に、児童や保護者からのSOSに迅速に対応できた。 【改善点】 ・なりたい自分を決め、適宜目標の見直しを行ってきたが、家庭でのSNSやゲームの使い方について保護者が不安を抱えることが多かった。そのため、年度途中から情報モラル教育の充実を図った。		
				③	「奥飛驒パラダイス計画」における探究活動の充実	地域の方から奥飛驒温泉郷の現状を学び、多様な考えにふれるとともに、自分や学級の学びを他者へ発信する学習を行う	B	家庭や地域と関わり、一人ひとりが考え行動する場面を位置づけた訓練を行う	A	【分析】 ・校内の防災訓練では、自分で考え行動できるものを多く取り入れることができた。また、市の補助金でヘルメットを購入し、環境整備を進められた。 【改善点】 ・奥飛驒温泉郷について学んだことを他者へ発信する活動に、学級差があった。どの学級も充実するように次年度の計画を進めていく。
				③	家庭・地域等と連携・協働し、「自分の命は自分で守る」防災教育	児童の姿や評価の結果等をもとに職員間で振り返り、次の目標をたてたり、共通理解のもと教育活動にあたる	B			
				④	事実で語り、学び合い支え合う職員集団	児童の姿や評価の結果等をもとに職員間で振り返り、次の目標をたてたり、共通理解のもと教育活動にあたる	B			

学校運営協議会における主な評価内容

ICT活用の一層の推進、奥飛驒パラダイス計画の充実、命を大切にされた教育活動の継続